

新年のごあいさつ

公益財団法人長野県消防協会 会長 上條 博文

新年明けましておめでとうございます。県下 77 団、3 万 8 百人余の消防団員をはじめ、消防関係者の皆様におかれましては、新たな希望を持って令和 5 年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

消防団員の皆様には、仕事を持ちながらそれぞれの地域において、火災や風水害などあらゆる災害から地域の皆様の生命、身体及び暮らしを守るため、郷土愛と奉仕の精神を持って職務に精励されておられますことに対し、深く敬意と感謝の意を表します。また、日頃より長野県消防協会の各種事業の運営に御理解と御協力をいただいていることに、厚く御礼申し上げます。

近年、気候変動の影響により、県内でも台風や線状降水帯による大雨で水害、土砂災害が頻発し、激甚化しております。昨年は市街地や山林の火災も相次ぎ、尊い人命や財産が失われました。各地の消防団が災害、火災現場の最前線で住民の救助、避難誘導、警戒活動に携わってこられました。地域や住民を熟知して活動する消防団に寄せられる地域の期待は大きく、我々の使命は益々重要になっております。

昨年は、1 月早々新型コロナウイルス オミクロン株による感染拡大が顕著となり、この波が 6 月まで及んだため、各消防団の訓練や行事がなかなか平常通り実施できず、団員士気の保持や技術の維持向上、団運営が難しい状況であったことと思います。感染拡大の波はその後 8 月から 9 月、11 月から現在までと繰り返し、全県の感染レベルや確保病床使用率も高い状況で推移しています。団員及び消防関係者の皆様には、御自身の健康管理と感染防止対策を徹底した上での活動をお願い致します。

この様な中、長野県消防協会では 6 月に新役員の体制がスタートしましたが、7 月に 3 年ぶりに県消防ポンプ操法大会、ラップ吹奏大会を松本で開催、9 月には消防殉職者慰霊祭、10 月には一堂に会して 3 年ぶりとなる消防団長、事務担当者研修大会など、感染症対策を講じながら実施してまいりました。参加、御協力いただいた役員、団員並びに関係の皆様には厚く御礼申し上げます。

消防団員の確保は喫緊の課題です。県内の消防団員の実員数は、団員の年額報酬の改善や直接支給の取り組みと相まった団員把握の厳格化等により、昨年 4 月現在で一昨年と比べて 1 5 9 0 人の減少と、これまでで最も大きな減少幅となっています。長野県消防協会といたしましては、一層の団員募集の広報に取り組むとともに、やりがいや魅力ある消防団づくりを支援するための事業に知恵を出していきたいと思っております。

昨年 12 月、専門委員会及び理事会では、令和 5 年度の事業執行方針を協議、承認していただきました。本年も役員一同一丸となって事業を執行し、消防団の支援に努力してまいりたいと考えておりますので、相変わらずの御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。おわりになりますが、本年が災害のない平穏な年となりますよう心から願うとともに、皆様方の益々の御健勝と御多幸を御祈念申し上げます。